

避難情報

集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、どの情報をもとに、どのタイミングで避難をするべきか？それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生 の危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

警戒レベルを用いた避難情報

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！ ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！ ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保 (市町村が発令)	5 相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
<警戒レベル4までに必ず避難！>					
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難 ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示 (市町村が発令)	4 相当 氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ・「高齢者等」は障がいのある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難 (市町村が発令)	3 相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・ 高潮注意報 (気象庁が発表)	2 相当 氾濫注意情報	———
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁が発表)	1 相当 ———	———

※市町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

※内閣府ホームページより一部を抜粋、編集して掲載

自主避難 について

危険を感じたらすぐ避難しましょう

局地的集中豪雨のような、突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わないケースもあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。

避難に関する2つの情報

災害の危険性が高まった場合、市町村は避難に関する情報を発令します。

2種類の情報は状況の深刻度に応じて発令しますので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。

※警戒レベル5(緊急安全確保)は、すでに災害が発生している状況です。直ちに命を守るための最善の行動をとってください。

警戒レベル3・高齢者等避難

人的被害の発生する危険性が高まった状況。



- 避難するのに時間がかかる高齢者など災害時要配慮者やその支援者は避難を始めます。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持ち出し品の用意など避難の準備を始めます。

警戒レベル4・避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況。



- まだ避難していない住民は直ちに避難します。
- 万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動を取ります。

発行：竹田市

制作・著作：株式会社ゼンリン大分営業所

作成：令和7年3月

「この地図は、竹田市長の承認を得て、同市所管の1/2500竹田市を使用して調製したものである。(承認番号) 竹建第0610001号」

「この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 24-41号 平成24年8月3日)」

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 5JHs 167-392号」 「JIS Z 8210避難所(建物)」

(禁無断複製) ©2025 ZENRIN CO., LTD.

風水害・台風

大雨注意報、警報、特別警報の発表のめやす

大雨注意報

災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報

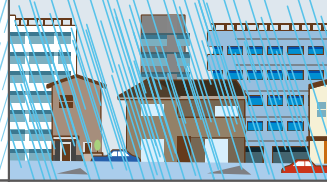
大雨警報

重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報

大雨特別警報

台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合

雨の強さと降り方

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量 10mm以上～20mm未満	1時間雨量 20mm以上～30mm未満	1時間雨量 30mm以上～50mm未満	1時間雨量 50mm以上～80mm未満	1時間雨量 80mm以上
				
ザーザーと降り、雨の音で話し声が良く聞き取れない。この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	どしゃ降り、傘をさしてもぬれる。ワイパーを速くしても見づらい。側溝等があふれる。	バケツをひっくり返したように降り、道路が川のようになる。危険地帯では避難の準備が必要。	滝のように降り、傘は全く役に立たなくなる。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。大雨による大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～30m/秒未満	30m/秒以上～
			
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。多くの樹木が倒れる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさの階級	風速15m/秒以上の半径	強さの階級	最大風速
大型(大きい)	500km以上～800km未満	強い	33m/秒以上～44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上～54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上

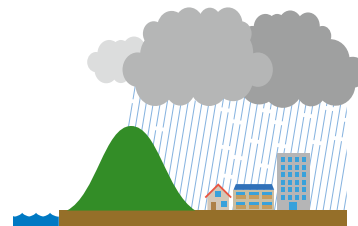


※台風とは

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋(赤道より北で東経180度より西の領域)または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速(10分間平均)がおよそ17 m/s(34ノット、風力8)以上のものを「台風」と呼びます。

線状降水帯

「線状降水帯」とは、数時間にわたって発達した雨雲(積乱雲群)がほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ 50～300km 程度、幅 20～50km 程度の強い降水をともしう雨域を意味します。ひとたび「線状降水帯」が発生すると、わずか数時間で災害発生の危険度が急激に高まることがあります。気象情報に十分注意し、「線状降水帯」に関する情報が発表されたら、ただちに身を守る行動をとってください。



防災対策の事例

- テレビやラジオなどの気象情報に注意する。
- 市や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオ等を用意する。
- 非常持ち出し品を準備しておく。
- 家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域にお住まいの方は、いつでも避難できるよう準備をする。

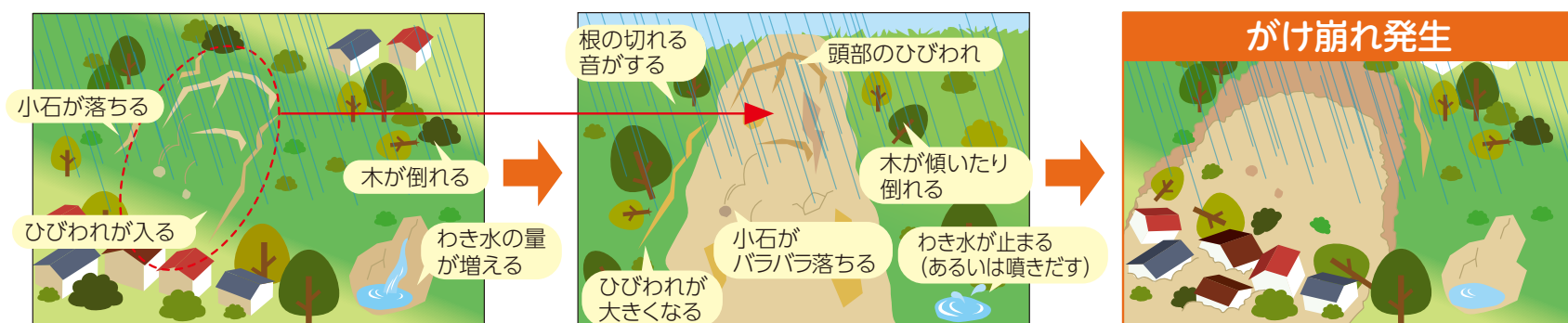
土砂災害

土砂災害

土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当)が発表されていなくても、普段と異なる状況(土砂災害の前兆)に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難所、避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

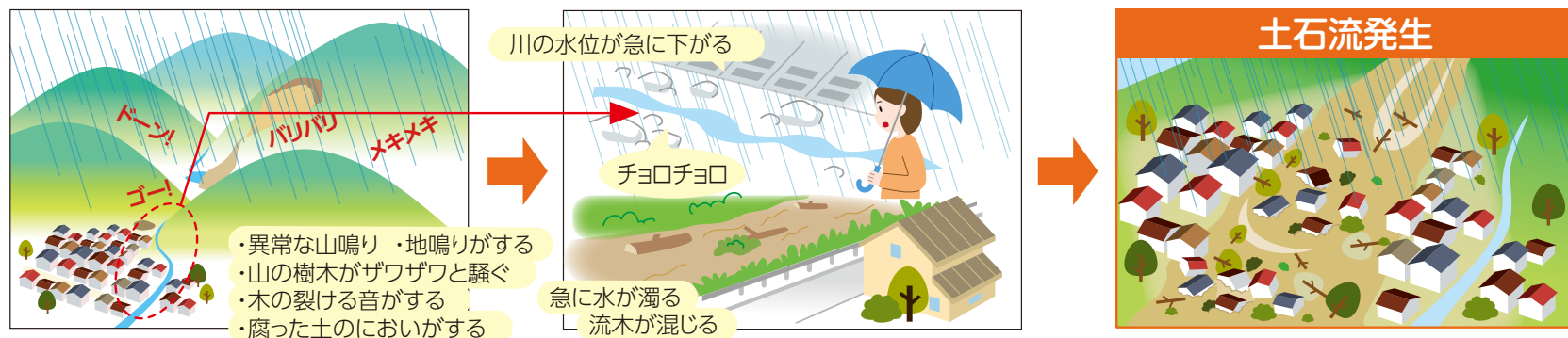
がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40km という速度で一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

水害に関する情報

川のはん濫

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

雨量の増加によってもたらされるはん濫には、川から水があふれたり、堤防が決壊して起こる「外水はん濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水はん濫」の2タイプがあります。

■ 外水はん濫

大雨によって、河川を流れる水が大幅に増え、堤防が決壊したり、堤防から水があふれ出す現象です。



■ 内水はん濫

排水能力を超える多量の雨が降り、排水が追いつかず土地や建物が水に浸かる現象です。



危険度分布に関する情報

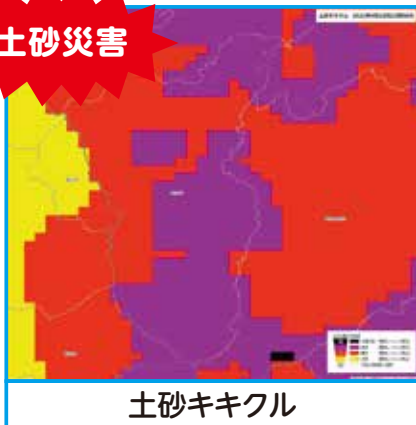
気象庁では、大雨による洪水、浸水害、土砂災害の危険度をキキクル（危険度分布）のホームページで色分けして掲載しています。紫色は危険度が高いことを示しています。

キキクル 危険度分布
はこちらから



※大分地方気象台より画像提供

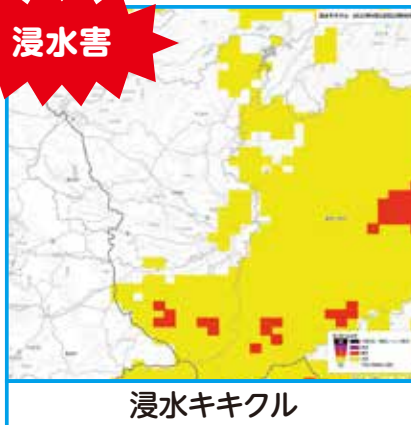
土砂災害



土砂キキクル

山や崖の近くが危ない!

浸水害



浸水キキクル

周囲より低いところが危ない!

洪水災害



洪水キキクル

川の近くが危ない!

災害発生の危険度が高まっている場所を視覚的に確認

河川水位及び危険度レベル

以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

大分県の河川の水位情報が
ご覧になれます。
大分県 雨量・水位観測情報は
こちらから



レベル5 はん濫発生(はん濫発生情報)

	稲葉川 (騎牟礼大橋)	玉来川 (桜瀬橋)	大野川 (中尾橋)	緒方川 (入田橋)	芹川 (桑畑橋)
--	----------------	--------------	--------------	--------------	-------------

竹田市 新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導

住民 新たにはん濫が及ぶ区域では避難を検討・判断

レベル4 はん濫危険水位(はん濫危険情報)

3.60m	5.90m	6.30m	3.40m	2.60m
-------	-------	-------	-------	-------

竹田市 避難指示の発令を判断し、状況に応じて発令

住民 避難を完了

レベル3 避難判断水位(はん濫警戒情報)

3.50m	5.30m	5.20m	3.00m	2.20m
-------	-------	-------	-------	-------

竹田市 高齢者等避難の発令を判断し、状況に応じて発令

住民 避難を判断

レベル2 はん濫注意水位(はん濫注意情報)

3.40m	3.80m	4.70m	2.60m	2.10m
-------	-------	-------	-------	-------

住民 はん濫に関する情報に注意

レベル1 水防団(消防団)待機水位(発表なし)

2.30m	1.80m	3.30m	1.50m	1.30m
-------	-------	-------	-------	-------

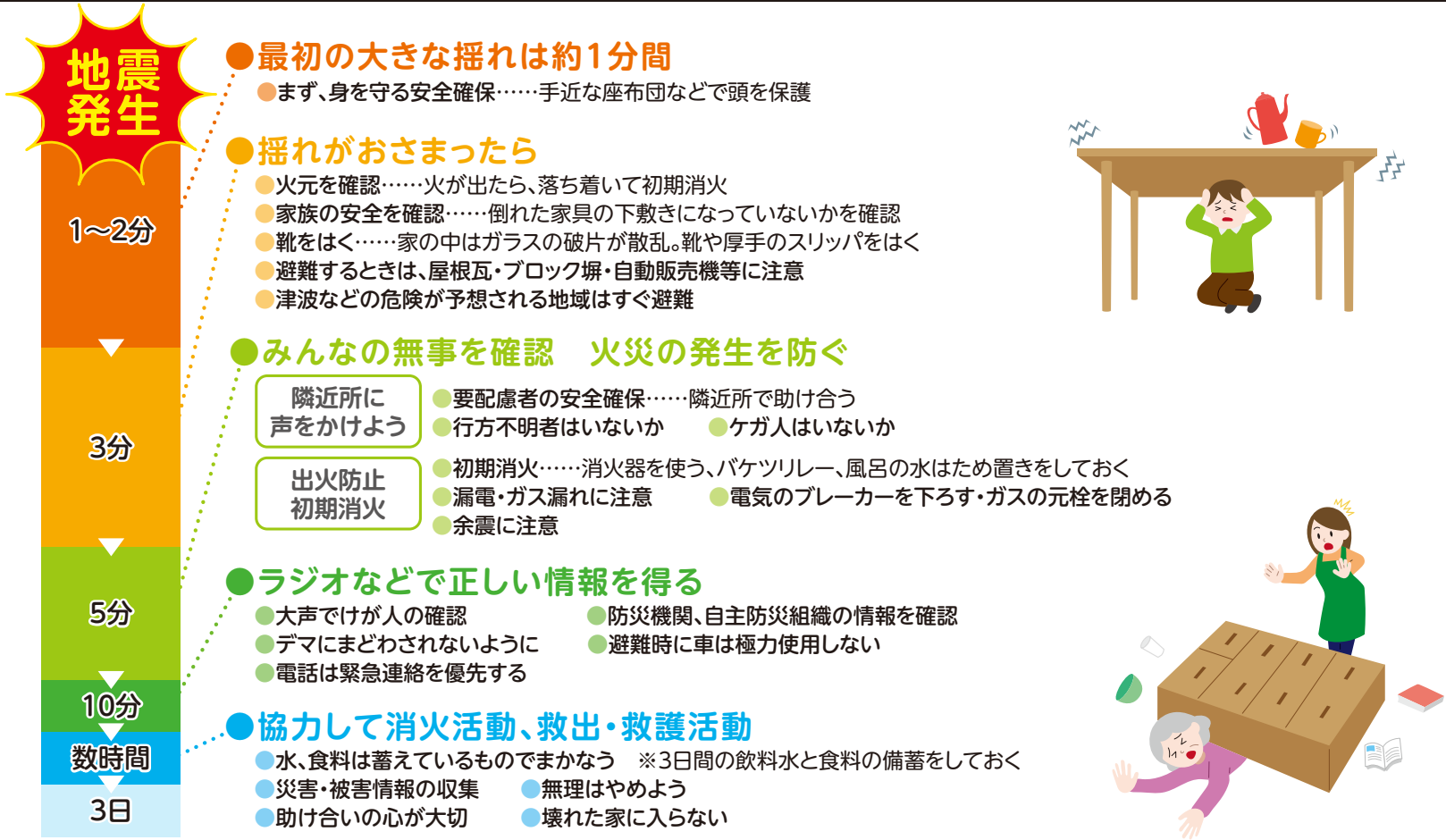
普段の水位

※竹田市が発令する避難情報は、状況に応じて既定の水位に達する前に発令することがあります。

地震による災害

大地震が起きると「振動(揺れ)」「液状化」「土砂災害」「地震災害」「津波」などがほぼ同時に起こり、大きな被害が生じる恐れがあります。周囲の状況判断して、まず自分自身の身の安全を確保し、消防署員及び消防団員、警察官などの指示に従って近所の人と一緒に徒歩(原則)で避難所等安全な場所に避難しましょう。

地震発生時の時間経過別行動マニュアル



屋内にいた場合

家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。避難にエレベーターは絶対に使わない。
- 炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

屋外にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

「震度階級」と想定される被害

震度4		ほとんどの人が驚き、一部の人は身の安全をはかろうとする。 部屋の不安定な置物が、倒れることがある。	震度6弱		立っていることが困難になる。壁のタイルや窓ガラスが破損し、落下することがある。耐久性の低い建物は倒壊の危険がある。
震度5弱		ほとんどの人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。耐震性の悪い建物では、壁や柱が破損することがある。	震度6強		立っていることができず、はわないと動くことができない。 補強されていないブロック塀のほとんどが崩壊する。
震度5強		物につかまらなると歩くことが難しい。 タンスなど重い家具でも倒れることがあり、建物の変形によってドアが開かなくなったりする。	震度7		揺れにほんろうされ、自分の意思で動くことができず飛ばされることもある。 耐震性の高い建物でも倒壊するものがある。大きな地割れや山崩れなどが発生することがある。

火山噴火への備え

噴火警戒レベル

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び 登山者・入山者等への対応
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及びそれより 火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。
			4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要。
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域近く まで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて高齢者等の要配慮者の避難の準備等。登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等。
		火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 登山者は火口周辺の立入規制等。
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	住民は通常の生活。 状況に応じて火口内への立入規制等。

※気象庁ホームページより一部を抜粋、編集して掲載

■噴火速報

噴火速報は、気象庁が噴火の発生事実を迅速に発表する情報です。登山中の方や周辺にお住まいの方に、火山が噴火したことを端的にいち早く伝え、身を守る行動を取っていただくために発表します。

テレビやラジオ、携帯端末などで知ることができます。



気象庁ホームページ
(噴火速報)



九重山火山防災
のしおり

噴火に伴い発生する危険な現象

■噴石

爆発的な噴火によって、火口から噴石が飛散し、生命への影響や建物の破壊につながります。

■土石流

噴火によって、斜面や谷の上流に火山灰が積もったとき、その後の雨によって土石流が発生しやすくなります。

■火砕流・火砕サージ

火砕流は、火口からの火山灰等が高温の火山ガスなど一団となり、猛スピードで移動する現象です。また、火砕流の周辺には火砕サージと呼ばれる気体を中心とした高温の流れが発生することもあります。

■火山灰(降灰)

火山灰は粒子が細かいため上空の風に流されて風下側の広い範囲に降り積もります。大量に積もると建物が押しつぶされることがあります。

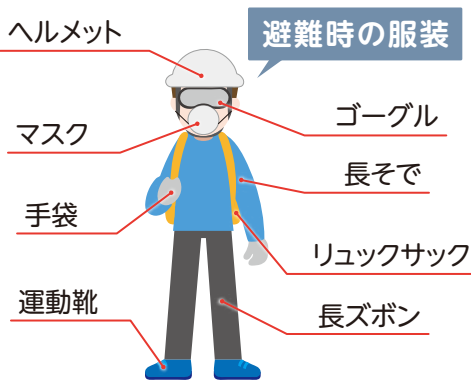
■溶岩流

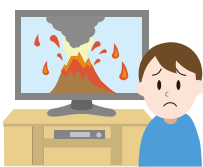
マグマが火口からあふれて斜面を流れ下る現象です。非常に高温で、通り道にある建物や樹木などは焼き尽くされ、埋もれてしまいます。



噴火が始まったら

避難路、避難場所の確認を前もって行い、避難する時は近所の人と一緒に、決められた場所へ避難しましょう。





気象台が発表する火山情報に注意しましょう。



ラジオ・ニュース・新聞・市の広報などを聞いて正しい情報を得ましょう。



市町村から避難指示などがあった場合には従いましょう。

特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。
普段からの備えと、早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

※表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

緊急地震速報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
地震 (地震動)	震度6弱以上または長周期地震動階級4の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上または長周期地震動階級4)を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(居住地域)※を特別警報に位置づける)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける)

※噴火警戒レベルを運用している火山では「噴火警報(居住地域)」(噴火警戒レベル4または5)を、噴火警戒レベルを運用していない火山では「噴火警報(居住地域)」(キーワード:居住地域嚴重警戒)を特別警報に位置づけています。

特別警報が 発表されたら

- 尋常でない大雨や津波などが予想されています。
- 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

命を守るために情報の収集に努めてください

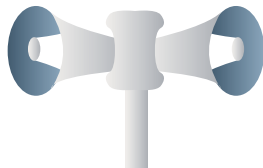
特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



テレビ・ラジオ



インターネット・気象庁ホームページ



IP告知放送・広報車

「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。

これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

「特別警報」については、大分地方気象台HPに詳細が掲載されていますので、ご確認ください。

大分地方気象台

〒870-0023 大分市長浜町3丁目1番38号
電話:097-532-2247
大分地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/oita/>



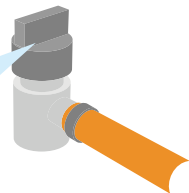
避難時の注意点

戸締り・ガス・火元・電気のチェック

避難の際は、火の始末と戸締りを行います。

避難時の持ち出し品は、必要最小限になるようまとめましょう。

閉栓



メモを残す!

外出中の家族へは、避難先を書いた伝言メモを目立つところに残しておきましょう。



速やかに避難を!

動きやすい格好で、2人以上で避難しましょう。災害に巻き込まれる可能性があるので、忘れ物などを取りに、家に帰らないようにしましょう。

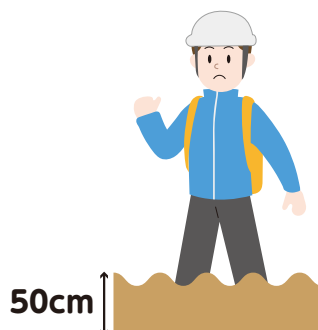


洪水・土砂災害での避難の仕方

歩ける深さに気をつける!

歩ける深さは平均約50cm。

水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょう!



履き物に注意!

裸足、長靴は禁物です。

ひもでしめられる運動靴が良いでしょう。



ロープでつながる!

はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難しましょう!

また、水面下には危険が潜んでいます。

長い棒を杖がわりに安全確認をしてください。



もしも、土石流に遭遇したら

逃げ方に注意しましょう!

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意しましょう。

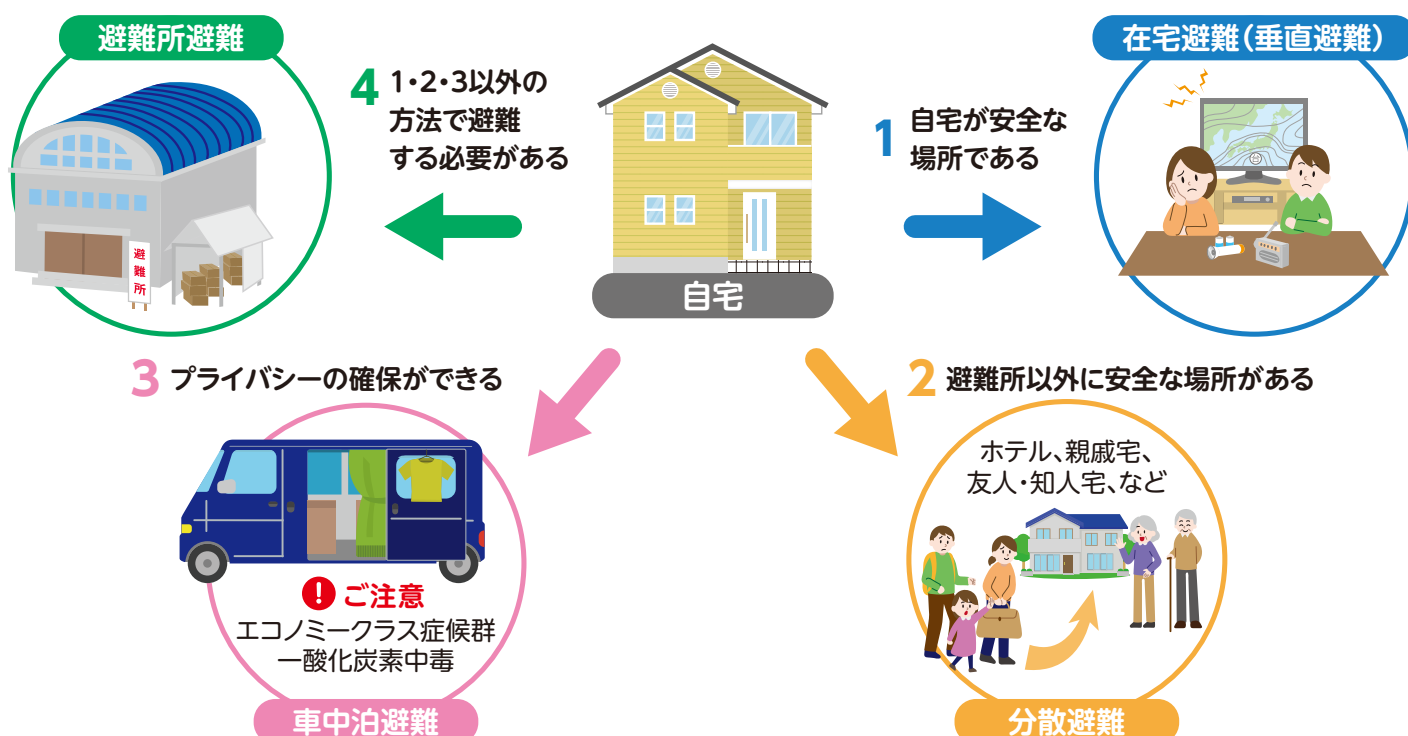


分散避難とは...

- 災害発生時に、自宅が安全な場合、自宅に留まる方法(在宅避難)
- 安全な地域に住んでいる親戚や友人・知人宅や宿泊施設などに避難する方法

自然災害が発生した場合に、感染症などが流行している状況では、不特定多数の人が集まる指定避難所等での避難生活の感染拡大リスクが高まります。そこで、災害が発生したとき感染症による2次被害を防ぐため、また、風水害時に高齢者等が事前に避難する必要がある場合(注1)など、避難所に避難する以外の方法(分散避難)もご検討ください。具体的には以下のような方法が考えられます。

注1: 事前避難が必要な場合...警戒レベル3相当以上の気象状況(避難指示、高齢者等避難相当)



防災対策&チェック

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

家の中の安全対策

□ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。
無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。

□ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全にする。



□ 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもや、お年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



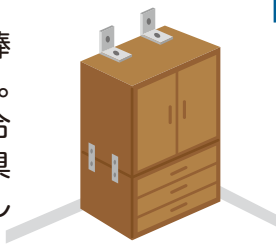
□ 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

家具の転倒、落下を防ぐポイント

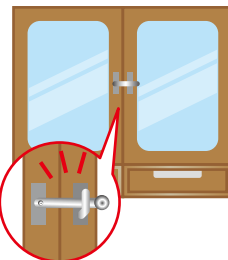
□ タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



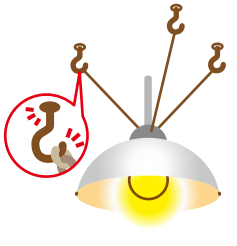
□ 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



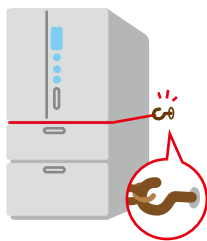
□ 照明

チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



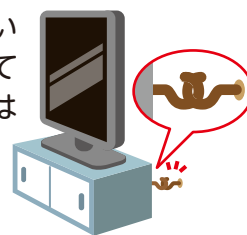
□ 冷蔵庫

扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



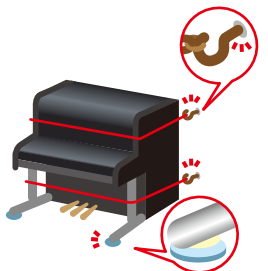
□ テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。



□ ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



家の周囲の安全対策

□ 屋根

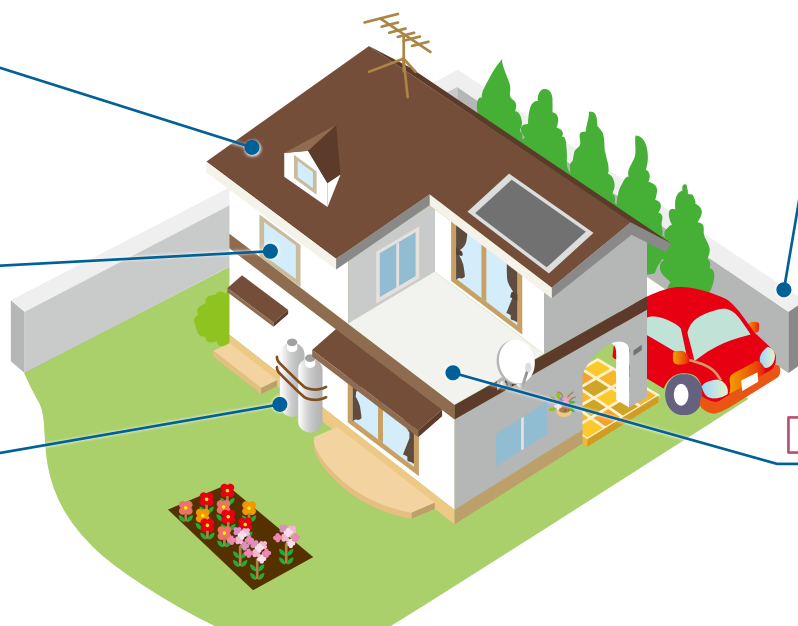
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

□ 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

□ プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。



□ ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

□ ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

非常持ち出し品の準備&チェック

非常持ち出し品は家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。災害発生時に最初に持ち出す非常持ち出し品と、災害から復旧するまでの数日間を支える非常備蓄品を分けて用意しておきましょう。

非常持ち出し品

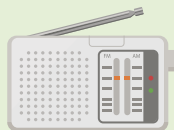
POINT!!

自分が使うもの(食料、防寒具、薬など)を持って避難しましょう。

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

あらゆる家庭に共通して必要なもの

携帯ラジオ



- ☐ ラジオ
- ☐ 電池(多めに用意)

救急医療品



- ☐ 常備薬
- ☐ 傷薬
- ☐ 風邪薬
- ☐ 鎮痛剤
- ☐ 包帯
- ☐ 絆創膏
- ☐ 胃腸薬

貴重品



- ☐ 現金、10円玉
- ☐ 印鑑
- ☐ 預金通帳
- ☐ 健康保険証
- ☐ 免許証
- ☐ 権利証書

懐中電灯



- ☐ 懐中電灯(できれば一人にひとつ)
- ☐ 電池(多めに用意)

非常食品等

火を通さないで食べられるもの、食器など



- ☐ 非常用食品
- ☐ 缶切り
- ☐ 紙皿
- ☐ 紙コップ
- ☐ 水筒
- ☐ 缶詰
- ☐ 栓抜き
- ☐ ミネラルウォーター

生活用品

- ☐ マスク
- ☐ 除菌用品(感染症対策用)
- ☐ タオル・ハンカチ
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ トイレtpペーパー
- ☐ ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉
- ☐ 防災マップ(本冊)
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 万能ナイフ・ハサミ
- ☐ ライター
- ☐ 筆記用具
- ☐ ゴミ袋

家族構成や家族の事情にあわせて必要なもの

女性向け用品

- ☐ 生理用品
- ☐ 鏡・ブラシ等
- ☐ 化粧品
- ☐ 女性用下着

乳幼児向け用品

- ☐ 母子手帳
- ☐ おむつ
- ☐ ミルク・離乳食
- ☐ おしりふき

子ども向け用品

- ☐ おもちゃ
- ☐ おやつ
- ☐ 防犯ブザー



高齢者向け用品

- ☐ 介護用品
- ☐ めがね
- ☐ 入れ歯・洗浄剤
- ☐ 持病薬・補装具

CHECK!!

自分にとっては絶対必要!というものを準備しましょう。

非常備蓄品

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック✓しましょう。

飲料水



- ☐ 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- ☐ 貯水した防災タンクなど

非常食品



- ☐ お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- ☐ 缶詰・レトルト食品
- ☐ 梅干し・調味料など
- ☐ ドライフーズ・チョコレート・飴(菓子類など)

燃料



- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料

その他



- ☐ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- ☐ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- ☐ 調理器具(なべ・やかんなど)
- ☐ バケツ・各種アウトドア用品など

感染症対策のために ～非常用持ち出し袋に追加すべき物～

非常食や飲料水などだけでなく、感染を予防するため、こうした持ち物も事前に非常用持ち出し袋に入れておくようにしましょう。

- マスク
- ウェットティッシュ
- 記録用ノート
- 石鹸・ハンドソープ
- 手指消毒用アルコール
- 筆記用具
- 体温計
- 家庭での常備薬
- ビニール袋(大小)

※非常用持ち出し袋は、家族全員がわかる場所に保管しましょう。



非常持ち出し品は、使用するときに支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限はまめにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。



マイ・タイムライン

大雨や台風などの風水害から身を守るためには、自分が住む地域の災害リスクを知り、防災気象情報を基に迅速かつ適切に避難することが重要です。
事前にマイ・タイムラインを作成し、「避難スイッチ」をオンにするタイミングなどを整理しておきましょう。

マイ・タイムラインとは

マイ・タイムライン作成例

マイ・タイムラインの対象とする災害は、【進行型災害】を基本としています。マイ・タイムラインの策定にあたっては、災害対応時の想定外の事態を減らすため、最悪の状況を含む災害を想定することが大切です。

進行型災害

洪水や台風など、発生やその被災状況が一定程度予測できる災害。



災害に対する事前の備えや、大雨・台風により浸水害や洪水、土砂災害などが発生する危険性が高まった時の避難開始のタイミング「避難スイッチ」などを、あらかじめ時系列に整理した【自分自身や家族の避難行動計画】です。



記入例

警戒レベルと警戒レベル相当情報（防災気象情報）				※警戒レベルと警戒レベル相当情報が発令・発表されるタイミングと対象地域は、必ずしも一致しないことに注意		
警戒レベル1 早期注意情報 (気象庁が発表) 今後、気象状況悪化のおそれあり — 	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表) 気象状況が悪化 はん濫注意情報 	警戒レベル3 高齢者等避難 (市町村が発令) 災害のおそれあり 警戒レベル3相当情報 大雨・洪水警報 はん濫警戒情報 	警戒レベル4 避難指示 (市町村が発令) 災害のおそれが高まっている 警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 はん濫危険情報 高潮警報 	警戒レベル5 緊急安全確保 (市町村が発令) 災害発生または切迫 警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 はん濫発生情報 高潮はん濫発生情報	必ず避難	
警戒レベルに応じた家族の行動						
災害への心構えを高める ○天気予報を確認 ○台風の進路やいつ接近するのチェック ○薬などを事前に受け取っておく	自分や家族の避難行動を確認 ○ハザードマップで避難場所を確認 ○非常持ち出し品の準備 ○テレビやラジオで気象情報をこまめにチェック	高齢者等は危険な場所から避難 わが家の避難スイッチ！ 警戒レベル3発令後に必ず避難する！！ ○家族で決めた避難場所の高台にある叔母の家に移動を開始！	危険な場所から全員避難 ○避難完了 ○引き続き気象情報を確認			命の危険、直ちに安全確保 自宅内の安全な場所へ避難 2階以上に避難
日頃から調べておくこと、備えておくこと						
わが家の災害リスク・避難先		非常持ち出し品		情報収集ツール		
☐ 浸水する深さ 想定 (3)m ☐ 近隣河川までの距離 (250)m ☐ 土砂災害警戒区域に入っている (いる) いない) 避難先① (叔母さんの家) まで、徒歩 (10)分 避難先② (〇〇公民館) まで、徒歩・車で (7)分 ※自宅が危険な地域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難(建物内の2階以上) ☐ 避難先までの危険な場所・特徴 (避難先①道路が狭い 避難先②長い階段がある、街灯が少ない)		☒ 食料品 ☒ 飲料水 ☒ 貴重品 ☒ 着替え ☒ 懐中電灯 ☒ 毛布 ☒ 携帯電話の充電器 ☐ 電池 ☒ マスク ☒ アルコール消毒液 ☒ 体温計 ☐ 防災マップ ☒ お薬手帳 ※忘れてませんか？ 常備薬 ※その他に準備する物も書いておこう！ 紙オムツ 生理用品 ドッグフード ビニール手袋 タオル ウェットティッシュ		☒ おおいた防災アプリ ☒ 県民安全・安心メール／市町村防災メール ☒ テレビ ☒ 防災ラジオ ☒ 大分地方気象台HP ☒ おおいた防災ポータル ☐		

マイ・タイムラインの作成方法

- ・我が家の災害リスクを知りましょう
- ・非常持ち出し品を決めておきましょう
- ・情報収集方法を調べて備えましょう
- ・警戒レベルと警戒レベル相当情報を理解しましょう
- ・自分や家族の行動を決めておきましょう

警戒レベルと警戒レベル相当情報（防災気象情報）				※警戒レベルと警戒レベル相当情報が発令・発表されるタイミングと対象地域は、必ずしも一致しないことに注意	
警戒レベル1 早期注意情報 (気象庁が発表) 今後、気象状況悪化のおそれあり	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表) 気象状況が悪化	警戒レベル3 高齢者等避難 (市町村が発令) 災害のおそれあり	警戒レベル4 避難指示 (市町村が発令) 災害のおそれが高まっている	警戒レベル4までに必ず避難	警戒レベル5 緊急安全確保 (市町村が発令) 災害発生または切迫
—	はん濫注意情報	警戒レベル3相当情報 大雨・洪水警報 はん濫警戒情報	警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 はん濫危険情報 高潮警報		警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 はん濫発生情報 高潮はん濫発生情報
警戒レベルに応じた家族の行動					
災害への心構えを高める	自分や家族の避難行動を確認	もうすぐ避難開始！	高齢者等は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	全員避難完了！
			命の危険、直ちに安全確保 自宅内の安全な場所へ避難 2階以上に避難		
日頃から調べておくこと、備えておくこと					
わが家の災害リスク・避難先		非常持ち出し品		情報収集ツール	
☐ 浸水する深さ 想定 ()m ☐ 近隣河川までの距離 ()m ☐ 土砂災害警戒区域に入って (いる・いない) 避難先① ()まで、徒歩・車で()分 避難先② ()まで、徒歩・車で()分 ※自宅が危険な地域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難(建物内の2階以上) 避難先までの危険な場所・特徴 () () ()		☐ 食料品☐ 飲料水☐ 貴重品☐ 着替え ☐ 懐中電灯☐ 毛布☐ 携帯電話の充電器 ☐ 電池☐ マスク☐ アルコール消毒液 ☐ 体温計☐ 防災マップ ※忘れてませんか？ ☐ 常備薬 ☐ お薬手帳 ↓その他に準備する物も書いておこう！		☐ おおいた防災アプリ☐ 県民安全・安心メール／市町村防災メール ☐ テレビ☐ 防災ラジオ ☐ ☐ ☐	

大分県のホームページからマイ・タイムラインの詳しい作り方の確認ができます。



避難所一覧



指定避難所

- ⓘ 土砂災害または、大規模浸水の恐れがある場合は開設しないことがあります。
⚠ 大規模地震の場合は開設しないことがあります。

竹田地域

施設名	所在地	電話番号	収容人数	MAP番号	備考	施設名	所在地	電話番号	収容人数	MAP番号	備考
① 竹田小学校体育館	大字会々1637	63-1062	200	33 拡2		13 竹田南部中学校体育館	大字君ヶ園1680	63-1072	200	37 拡3	
② 竹田創生館	大字竹田2062-1	62-4100	20	37 拡4	ⓘ ⚠	14 入田分館	大字門田250-7	62-2955	40	42	ⓘ
③ 野外活動施設	大字竹田584-2	63-0610	100	38 拡4	ⓘ	15 祖峰小学校体育館	大字門田266	62-2956	200	42	
④ 竹田高等学校体育館	大字竹田2642	63-3401	200	38 拡2	ⓘ	16 あ祖母学舎	大字神原13	67-2121	200	49	
⑤ 岡本分館	大字三宅1543	62-3863	20	33		17 福祉施設はくすい	大字次倉4459-1	67-2001	200	49	ⓘ
⑥ 岡本分館体育館	大字三宅1543	無	200	33	⚠	18 次倉地区集会所	大字次倉914-4	無	20	45	
⑦ 明治分館体育館	大字平田5782-1	無	100	32	ⓘ ⚠	19 旧菅生小学校体育館	大字菅生490-1	65-2221	200	35	
⑧ 鬼田公民館	大字植木1808-2	無	30	32	ⓘ ⚠	20 菅生分館	大字菅生1111-2	65-2222	100	35	
⑨ 竹田中学校体育館	大字会々3423-1	63-1070	200	32 拡1		21 宮城分館	大字炭竈680-3	66-2014	200	30	⚠
⑩ 東中集会所	玉来1299-2	無	40	37 拡3	⚠	22 城原小学校体育館	大字城原1705	66-2013	200	31	
⑪ 竹田市総合運動公園	大字竹田1320	63-4980	100	37 拡4		23 城原地区館	大字城原1725-7	66-2001	20	31	⚠
⑫ 南部小学校体育館	大字君ヶ園1044	63-1064	200	37 拡3							

荻地域

施設名	所在地	電話番号	収容人数	MAP番号	備考	施設名	所在地	電話番号	収容人数	MAP番号	備考
① 荻公民館	荻町馬場367	68-2025	200	40	⚠	14 高城自治会公民館	荻町高城1018	無	40	40	⚠
② 荻福祉健康エリア	荻町恵良原1772-7	68-3050	200	44		15 恵良原自治会公民館	荻町恵良原2020	無	40	40	⚠
③ 荻小学校体育館	荻町馬場466	68-2006	200	44		16 馬背野自治会公民館	荻町馬背野745-1	無	30	41	⚠
④ 緑ヶ丘中学校体育館	荻町馬場861	68-2012	200	40		17 仏面自治会公民館	荻町仏面908-2	無	20	43	⚠
⑤ 柏原公民館	荻町瓜作4576	無	100	44	⚠	18 叶野自治会公民館	荻町叶野1267-5	無	30	43	⚠
⑥ 馬場自治会公民館	荻町馬場1270-1	無	30	40	⚠	19 高練木自治会公民館	荻町高練木2299-2	無	40	44	
⑦ 桜町東区集会所	荻町恵良原739-6	無	20	44	⚠	20 柏原自治会公民館	荻町柏原2869-2	無	25	44	⚠
⑧ 桜町栄区集会所	荻町馬場505	無	20	40	⚠	21 瓜作自治会公民館	荻町瓜作4831-2	無	30	44	⚠
⑨ 桑木自治会公民館	荻町桑木707-8	無	50	43	⚠	22 宮平自治会公民館	荻町宮平3654	無	30	44	⚠
⑩ 木下自治会公民館	荻町木下202-1	無	30	39	ⓘ ⚠	23 西福寺自治会公民館	荻町西福寺5733-2	無	40	44	⚠
⑪ 政所自治会公民館	荻町政所1040-4	無	30	39	⚠	24 嶋田自治会公民館	荻町嶋田6388-2	無	30	45	⚠
⑫ 藤渡自治会公民館	荻町藤渡673-3	無	40	39	⚠	25 北原自治会公民館	荻町北原5004-12	無	20	44	⚠
⑬ 新藤自治会公民館	荻町新藤425	無	30	40		26 大平ふるさと交流の家	荻町大平785-3	無	50	47	⚠

久住地域

施設名	所在地	電話番号	収容人数	MAP番号	備考	施設名	所在地	電話番号	収容人数	MAP番号	備考
① 久住公民館	久住町大字久住6154	76-0717	100	21		④ 白丹小学校体育館	久住町大字白丹4707	76-1151	100	25	
② 久住小学校体育館	久住町大字久住2859	76-0019	100	21		⑤ 都野公民館	久住町大字栢木6049-1	77-2001	100	17	
③ 白丹公民館	久住町大字白丹4725-2	76-0028	100	25		⑥ 都野小学校体育館	久住町大字栢木6037-1	77-2003	100	17	

直入地域

施設名	所在地	電話番号	収容人数	MAP番号	備考	施設名	所在地	電話番号	収容人数	MAP番号	備考
① 直入中学校体育館	直入町大字長湯8518-1	75-2260	100	14		⑥ 山村交流センター	直入町大字下田北192	78-1552	30	4	⚠
② 旧下竹田小学校体育館	直入町大字上田北2012	無	100	4	⚠	⑦ 直入公民館	直入町大字長湯8208-6	75-2240	20	14	
③ 直入小学校体育館	直入町大字長湯3088	75-2250	100	14		⑧ 竹田市直入B&G海洋センター体育館	直入町大字長湯8208-4	75-2243	100	14	
④ 道の駅ながゆ温泉湯の郷ふれあい館	直入町大字長湯8043-1	75-3111	50	14		⑨ ドイツ村簡易宿泊施設	直入町大字長湯8195-11	75-2615	60	14	
⑤ 直入セミナーハウス	直入町大字長湯8518-1	75-2260	50	14		⑩ 竹田市直入高齢者コミュニティセンター	直入町大字長湯3121	無	30	14	⚠



福祉避難所

施設名	所在地	電話番号	収容人数	MAP番号	備考	施設名	所在地	電話番号	収容人数	MAP番号	備考
① 特別養護老人ホーム「久住荘」	久住町大字久住6485-1	76-0111	1	21		⑤ 特別養護老人ホーム「荻の苑」	荻町恵良原780-2	64-6886	1	44	
② 介護老人保健施設「岡の苑」	大字竹田1855	63-3837	1	37 拡2		⑥ 特別養護老人ホーム「悠々居」	大字三宅1763-1	63-3201	1	33	
③ 特別養護老人ホーム「こころの郷」	大字飛田川11618-23	63-3323	1	37 拡4		⑦ 介護老人保健施設「ヴァルド・グラスくじゅう」	久住町大字栢木574-34	64-7500	1	17	
④ 総合福祉施設「美晴が丘」	直入町大字長湯9067-4	75-3333	1	14		⑧ 養護老人ホーム「久住高原南山荘」	久住町大字栢木6062-1	77-2123	1	17	

緊急時の連絡

緊急時の連絡先

消防・救急は

119番

警察は

110番

	名 称	電話番号
行政 関係	竹田市役所(防災危機管理室)	0974-63-1111
	竹田市役所 荻支所	0974-68-2211
	竹田市役所 久住支所	0974-76-1111
	竹田市役所 直入支所	0974-75-2211
警察・ 消防	竹田市消防本部	0974-63-0119
	竹田警察署	0974-63-2131

	名 称	電話番号
ライフ ライン	電話の故障に関することは NTT西日本	0120-444-113
	停電に関することは 九州電力送配電(株) 三重配電事業所	0800-777-9430
	上水のことは 市役所上下水道課	0974-63-4836

もしもの時のために**連絡先**を記入しましょう。

家族・親戚

名前	☎	名前	☎
名前	☎	名前	☎
名前	☎	名前	☎

かかりつけの病院

日常の心得

災害は、いつ発生するかわかりません。日頃からの備えが大切です。日頃から気象情報について、テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなどを通じて把握するよう努めましょう。

災害用伝言サービス

災害発生時は、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。事前に話し合い、連絡方法を確認しておきましょう。

なお、電話会社各社では、大規模な災害発生時に災害用伝言ダイヤルなどを利用できます。事前に利用方法を確認しておきましょう。

災害用伝言ダイヤルとは？

NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否などの情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

●災害用伝言ダイヤルの使い方

※伝言蓄積数や保存期間は災害の状況により異なります。

伝言の録音	171-1-		(自宅の電話番号、または連絡を取りたい方の電話番号)	伝言保存期間	提供終了まで
伝言の再生	171-2-			伝言蓄積数	1電話番号あたり1～20伝言まで
伝言内容 (時間)	1伝言あたり30秒以内			利用可能電話	加入電話、ISDN、ひかり電話、携帯電話(一部除く)等 ※ISDNおよびひかり電話をご利用でダイヤル式電話機をお使いの場合はご利用になれません

緊急速報メール/エリアメール

「緊急速報メール」により、緊急情報を配信します。

市では、災害時の避難指示などの緊急情報をより多くの人にお伝えするため、緊急時に市内にいる人の携帯電話へ「緊急速報メール」の配信を行います。

- 「緊急速報メール」とは、避難指示などの緊急情報を市内にいる人の携帯電話（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル等）へ一斉にメールを配信するものです。
※機種により「緊急速報メール」を受信できない場合や受信設定が必要となる場合がありますので、詳しくは、各携帯電話会社へお問い合わせください。
- 配信する情報は、避難指示など、緊急かつ重要な情報です。
- 携帯電話を利用する人の費用負担や事前のメールアドレス登録は必要ありません。